

港湾空港局

一般会計要求総額	11,177百万円 (対前年度 +74.8%)
特別会計要求総額	6,128百万円 (対前年度 +12.1%)
合計	17,305百万円 (対前年度 +45.9%)

【令和2年度 予算要求の経営方針】

港湾空港局は、「北九州港」と「北九州空港」という二つの「みなと」を最大限に活用し、「元気発進！北九州」プランの推進を図るとともに、「SDGs」の視点に立ち、「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「北九州市新成長戦略」に掲げた施策を着実に実行していきます。

【令和2年度 予算要求の基本的な考え方】

(新)：新規事業、(拡)：拡充事業

1 北九州港 ～ 競争力のある港づくりの推進

要求額（一般会計、特別会計）15,998百万円（対前年度 +47.8%）

●更なる物流拠点化の推進・北九州港の利用促進（集貨・創貨）

アジアに近い地理的優位性や充実した物流基盤を活用し、更なる物流拠点化の推進や北九州港の利用促進を図る。

新たなフェリー埠頭整備による国内物流の拡大、コンテナクレーン更新等による太刀浦コンテナターミナルの機能強化、戦略的なインセンティブによる国際コンテナ航路誘致、臨海部産業用地への企業誘致等に取り組む。

- 新門司フェリーターミナル関連事業、● 太刀浦コンテナターミナル機能強化関連事業
- 北九州港利用促進関連事業、● 企業誘致活動及び埋立地整備事業

●風力発電関連産業の総合拠点の形成

響灘地区の充実した港湾インフラと広大な産業用地を活用し、風力発電関連産業の総合拠点の形成に向け、関連産業の集積促進や響灘洋上ウインドファーム事業の支援を行う。

また、洋上ウインドファームの建設に必要な基地港湾を整備する。

- 響灘洋上風力発電拠点化推進事業
- 洋上風力発電に係る基地港湾整備事業、● 響灘東地区SEP船等基地化事業



写真提供 MHI Vestas Offshore

●港湾施設の着実な整備及び効率的な維持管理

市民生活や企業活動を支える重要インフラである港湾施設について、施設の老朽化や防災・減災などの課題に対応するため、必要な施設整備を着実に進めるとともに、効率的な維持管理に努める。また、港湾計画の改訂作業に着手する。

- 響灘東地区処分場整備事業、● 海岸（高潮）事業、● 航路白地浚渫対策事業、● 北九州港港湾計画改訂事業
- 港湾施設健全化対策事業、● 臨港道路緊急安全対策事業、● LED照明等導入事業

●港のにぎわいづくり

クルーズ船の誘致推進にあたり、新たにJR小倉駅に近接し利便性に優れた浅野地区でのクルーズ船受入環境整備に取り組む。また、門司区西海岸エリア一帯の観光施設が「みなとオアシス門司港」として登録されたことを受け、「みなと」を核としたまちづくりを行う。

- 浅野1号岸壁クルーズ船寄港受入環境整備事業、● みなとオアシス推進事業



「みなとオアシス門司港」登録証交付式

2 北九州空港 ～ 北九州空港将来ビジョンの推進

要求額（一般会計、特別会計）1,307百万円（対前年度 +26.2%）

空港利用者数200万人を目指し、更なる路線の獲得と定着に向け、今後3カ年を「ネットワーク充実強化期間（R1～3）」と位置づけ、福岡県と一層緊密に連携しながら、北九州空港の利用促進に取り組む。また、滑走路延伸の早期実現を図るための貨物拠点化対策や、空港アクセスの更なる利便性向上等、北九州空港の機能強化に向けた調査・検討等を実施する。

- 北九州空港航空貨物拠点化推進事業、● 北九州空港新成規路線候補地促進事業
- 北九州空港アクセス推進事業、● 北九州空港機能強化推進事業



北九州空港全景

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和2年度に実施することが確定しているものではありません。